



阿東

エリア

Ato



県内有数の農業地帯
 冷涼な高原のまち

市北東部の中国山地に囲まれた標高300m前後の高原地帯。エリア中央部をJR山口線と国道9号線がほぼ並走し縦貫している。冬場には山口県内屈指の降雪・積雪があり、本州最西端のスキー場もある。農業が基幹産業で、昼夜の寒暖差を活かした稲作は質・量ともに県内有数。トマトやりんご、梨の栽培も盛ん。

1.その美しい山容から「長門富士」とも呼ばれる十種ヶ峰(標高988.6m)。独立峰で山頂付近は遮るものがなく360度のパノラマが楽しめる。麓の平野は県内有数の米どころ。田んぼが広がる。2.阿東徳佐地域は西日本最大のりんご産地。観光りんご園が広がる。3.地福地域にあるミニスーパーとコミュニティスペースを併設した「ほほえみの郷 ToiToi」。移動販売車で阿東エリアの各所へ出向いて日用品などの販売もしている。4.春から秋にかけて週末を中心に山口線の新山口〜津和野間を1日1往復する観光列車、SL「やまぐち」号。阿東の田園を疾走する姿は日本の原風景のよう。



DATA 2023年1月1日現在

面積 / 293.06km²
 人口 / 4,482人
 世帯数 / 2,134世帯

徳地

エリア

Tokuji

佐波川中・上流域
 緑豊かな山林を有する

佐波川中・上流の山間地域。山林はスギ・ヒノキ・マツなどの針葉樹が大半で、古くから良質の木材の産地として知られる。鎌倉時代には奈良の東大寺再建のための木材をこの地から切り出しており、その際に伝えられたという和紙の製造が今も受け継がれている。林業のほか、稲作と肉用牛の生産も盛ん。



1.大原湖上流にある滑峽、飯ヶ岳登山道にある三本の天然杉「滑三本杉」。林野庁「森の巨人たち100選」指定。推定樹齢300年、樹高は40m超の巨木。2.大原湖は佐波川ダムによってできた人造湖。湖畔にはバス・トイレ等を完備したケビンとオートキャンプサイトを備える施設がある。湖でカヌーも楽しめる。3.2010年に廃校を活用して作られた「やまぐちサッカー交流広場」。人工芝のサッカー場を中心としたスポーツ施設で、Jリーグノファ山口FCのユースチームの練習拠点にもなっている。4.約8万㎡の集落跡地に昔ながらの山村風景を再現したテーマパーク「重源の郷」。紙すき体験などもできる。



DATA 2023年1月1日現在

面積 / 290.33km²
 人口 / 4,753人
 世帯数 / 2,160世帯



仁保

エリア

Niho

1.仁保地域の春の風物詩、道の駅「仁保の郷」近くの仁保川の鯉のぼり。地域の人たちから提供を受けた約100匹が川の上を泳ぐように掲げられる。2.KDDI山口衛星通信センター。日本最大の衛星通信施設で、敷地には、衛星との交信用パラボラアンテナが大小20基並ぶ。田畑の中にそびえ立つ巨大なアンテナの姿は圧巻。3.肉、卵、牛乳、野菜など様々な農産品を手がける、秋川牧園。食の安心安全を追求し、生産から加工、販売までを一貫して行う。

自然と利便が 共存する 市街地隣接エリア

山口市のほぼ中心付近、阿東・徳地エリアと市街地との中間地にあたる。地域の中心を流れる仁保川周辺に田園地帯が広がる。ぶどうや桃、米などの栽培が盛んな農村地域だが、市街地エリアに近接しており、KDDI山口衛星通信センター、山口県警察学校、道の駅、ゴルフ場など比較的大きな施設も点在している。



DATA 2023年1月1日現在
面積 / 72.84km²
人口 / 2,838人
世帯数 / 1,074世帯

DATA 2023年1月1日現在
面積 / 43.82km²
人口 / 4,147人
世帯数 / 1,667世帯

1.JA小鯖支所が経営していた店舗跡を活用した買い物・交流拠点「おさば里の駅」。地元野菜や日用品、精肉や手芸品を取り扱う。鮮魚店も出店。地域の交流の場にもなっている。2.平安時代中期に大分の宇佐八幡宮から勧請された古社、「鰐鳴八幡宮」。春は桜、秋は彼岸花の名所として知られる。3.三つの滝からなる「鳴滝」。その少し下流には鳴滝河川プールがあり、夏は家族連れで賑わう。



小鯖

エリア

Osaba



エリア南端の穏やかな気候の地域
山口市中心部と防府市のほぼ中間に位置する。山に囲まれ、平地は田畑が広がる農村地域。比較的温暖な気候で稲作を中心に農業が盛ん。防府市への通勤者も多い。地区の中心を貫く国道262号線、中国自動車道山口ICもあり、自動車交通の便が良いことから、近年は徐々に宅地化が進みつつある。